



未来を夢見て Season 2

2022/1/6 No. 119

令和4年仕事初め ～数見隆生先生をお迎えして～

令和4年1月6日（木）、出勤する先生方も増えてきて、少しずつ東西の職員室から先生方の声が聞こえてくるようになりました。外を見ると見事な青空で一昨日の吹雪が嘘のようです。それでもまだ校庭には雪が残り、ここ数日話題になっていた校庭の真ん中の謎のモニュメント（写真上から2番目）もまだ形を残しています。

年始にいただいた年賀状で「校長室だよりを読んでいます」と数名の皆様からメッセージをいただきました。読んでくださっている方がいると思うと励みになります。校長室だよりはあくまで職員向けに書いているつもりですが、保護者の方、地域の方などにも少しでも小野小学校の様子を知っていただければ幸いです。

さて、1月11日（火）に数見隆生先生（宮城教育大学名誉教授）をお迎えして研修会をもつことになりました。

ご承知の通り数見先生は長く宮城教育大学で学校保健や教員養成に長く関わってこられました。不登校や別室登校についても長く研究され、今回は本校でも喫緊の課題であるこれらをテーマに御指導いただくことをねらいとしています。

ところで写真ですが平成16年、数見先生（当時の附属小学校長）に同行して、韓国の大邱教育大学校附設小学校を訪問したときのものです。当時宮城教育大学と大邱教育大学が姉妹校になっていて、その関係で私たち同じ「附属同士」も姉妹校としての関係を締結したときの様子です。当時の附属は、国立大学が独立行政法人に移行する時期で、大学としても新たな分野を模索している時期でした。残念ながら、その関係はその後に日韓関係の悪化もあり、うまくいくことはなかったようですが、当時苦労に苦労を重ね、研究主任として交渉を任せられていた私には、写真の締結書への調印はまるで夢にまでみるような光景でした。その後も数見先生とは親しくお付き合いさせていただいていますが、おいくつになられても色褪せない先生の情熱と鋭い知見には本当に驚かされます。



1月11日は3学期の始業式。2月には北京オリンピックが開催されます。式では「国境を越えた友情」をテーマに私自身も韓国の皆さんとふれあった経験をもとに、子供たちに4年前の平昌オリンピックでの1コマ（写真）を紹介したい、と考えています。

いよいよ3学期のスタートです。まだまだ感染症への警戒は予断を許さないところですが、これまで通り感染症対策を継続し、卒業や進級に向けて進んでいきましょう。

（文責：手代木）